



テーマ：～実践事例に学ぶ～

自治体におけるテレワーク・ コワーキング推進のヒント！

参加費
無料

ニューノーマルの生活様式を構築する上でも、自治体職員の働き方の見直し、また住民への働く場の提供の取組みが加速しています。今回は、自治体職員のテレワークやコワーキングスペース新設に取り組まれた自治体をお迎えし、コロナ禍での実践例、取組みを通して見えてきた課題について考えます。

日 時：7月15日（木） 13：30～16：10

定 員：200名 締切：7月13日

参加方法：YouTubeにて配信致します。（限定公開）

インターネットに接続したPCやスマートフォンでご視聴いただけます。

申込URL：<https://iam.movabletype.io/seminar.html>

もしくはQRコードから

セミナー前日に、ご登録いただいたメールアドレスにオンラインURLをお送りします。



主催：一般財団法人行政管理研究センター 協賛：株式会社オカムラ

問い合わせ先：自治体職員向けセミナー事務局

✉ wkstseminar@iam.or.jp

7月15日 タイムテーブル

13:30～13:35 注意事項説明

13:35～13:40 ご挨拶：一般財団法人行政管理研究センター
理事長 渡会 修

【第一部】

基調講演：『リモート時代の地域のリデザインとは？ ～ワークスタイル変革とイノベーション創出』

13:40～14:10



総務省 サイバーセキュリティ・情報化審議官
箕浦 龍一 氏

行政管理局時代に取り組んだオフィス改革を中心とする働き方改革の取組は、人事院総裁賞を受賞（両陛下に拝謁）。中央省庁初の、基礎自治体との短期交換留学も実現するなど若手人材育成にも取り組む。幅広い人脈を生かし、働き方、テレワーク、食と医療など様々なプロジェクト・コミュニティにも参画。

【第二部】

『魅力あふれるコワーキングスペース！産業交流スペース 「メグリバ」によるビジネス支援の取組』

14:10～14:40



山口市 経済産業部 ふるさと産業振興課 新事業支援担当
副主幹 **長尾 敦司 氏**

山口市の産業交流スペース メグリバ「出会う つながる 生まれる 広がる 産業交流の場」をコンセプトに“あたらしいビジネスを創り出す場所”として令和3年4月に誕生。運営ポイントや活性化への工夫についてご紹介します。

14:40～14:50 休憩

【第三部】

『自治体テレワーク推進のための手引き』のポイント

14:50～15:10



KUコンサルティング **高橋 邦夫 氏**

総務省地域情報化アドバイザー・総務省テレワークマネージャー
電子自治体エバンジェリスト
豊島区役所に29年在籍、新庁舎建設時にはCISO（最高情報セキュリティ責任者）、情報管理課長を務める。現在は、電子自治体エバンジェリストとして、多くの自治体向けに研修やコンサルティングを手掛け、ICTを活用した業務改革、働き方改革、テレワークの推進をされている。

15:10～15:30 『実践事例 松本市における在宅勤務・サテライトオフィスの取組』



松本市 総合戦略局 DX推進本部
本部長 **宮尾 穰 氏**

実証実験に始まり段階的に進められたテレワークの取り組み。「松本市版テレワークデイズ」の実施やガイドラインの策定、抵抗感を払拭するための工夫など、実践から見てきた課題についてもご紹介します。

15:30～16:00 トークセッション：高橋氏×宮尾氏

16:00～16:10 司会：終了挨拶・アンケート誘導